

2005年6月27日  
昭和電線電纜株式会社  
(コード番号 5805)

**ベトナムに生産拠点を新設し、成長事業を加速**  
・・・ベトナムに初の現地法人を独資で設立・・・

昭和電線電纜株式会社(取締役社長 富井俊夫)は、成長事業分野の精密デバイス事業とワイヤハーネス事業の新たな海外生産拠点として、ベトナムに初進出することを決定いたしました。

これまで精密デバイス(ローラ)やワイヤハーネス事業は、中国に生産拠点を確立し展開してきましたが、今年度中には増産対応も限界に達し、また、中国一極集中のリスクを分散させるなどの理由から、中国華南地区への供給も可能なベトナム・ハノイ市内に現地法人を設立し、年度内に生産体制を整える計画です。

ベトナムの生産拠点を立ち上げることにより、更に競争力を強化し、第7次中期経営計画で掲げた成長事業の拡大を加速して行きます。

記

会社の概要

社名 SWCC SHOWA (Vietnam) Co., Ltd.  
設立目的 事務機器用ローラおよびワイヤハーネスの製造・販売  
所在地 ベトナム ハノイ市 タンロン・インダストリアルパーク内  
代表者 社長 栗原 正和(当社 従業員)  
資本金 3,000,000 米ドル(当社100%出資)  
売上高 1.8億円(2008年度目標)  
投資額 7億円 工場建設は7月着工、来年1月完工予定。  
操業は今年度内に開始予定。  
面積 <土地> 約12,400 m<sup>2</sup> <工場> 2階建 約8000 m<sup>2</sup>  
従業員数 約500名(2008年度計画)

精密デバイス事業は、主に複写機、プリンタ用のローラの生産を事業の核とし、国内は海老名工場、中国は福建省の2拠点で生産しています。第3の拠点となるベトナム新工場は、事務機器市場の成長を牽引する Low-End プリンタ用ローラをターゲットとし、これらのローラ生産に特化した量産体制を構築することで、事業の拡大を目指します。

一方、家電、事務機器等を中心に展開するワイヤハーネス事業は、中国の浙江省嘉興市と広東省東莞市の2拠点で海外生産を展開していますが、中国一極集中を避ける日系セットメーカーの動きや、良質な労働力を得られることから、ベトナムへ進出することといたしました。これにより、競争力が強化され、ユーザーに密着した供給体制を整えることで、積極的に市場の開拓を図ってまいります。

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

総務部 総務・広報グループ 03-5532-1911